

新型コロナウイルス感染症に関する不当な差別や偏見をなくしましょう

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者・濃厚接触者、医療従事者やその他関係者などに対し、誤解や偏見に基づく差別を行うことは許されません。公的機関の提供する正確な情報を入手し、冷静な行動に努めましょう。

困った時は1人で悩まず、下記までご相談ください。

▶みんなの人権110番

☎0570・003・110

(受付時間 午前8時30分～午後5時15分)

※土日・祝日を除く。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためご利用・ご活用ください

◆秋田県版
新型コロナ
安心システム



◆接触確認アプリ
COCOA



新型コロナウイルス感染症が心配なとき発熱などの症状がある場合はかかりつけ医に電話でご相談ください

発熱等の症状が生じた場合は、以下のとおり受診・相談してください。

●発熱等の症状が生じた場合

かかりつけ医に電話で相談してください。

●以下の①～⑥に当てはまる場合

あきた新型コロナ受診相談センター（コールセンター）に相談してください。

- ①発熱等の症状が生じ、かかりつけ医がない場合
- ②相談する医療機関に迷う場合
- ③かかりつけ医が休診の場合
- ④新型コロナウイルス感染症に関して不安を感じている場合
- ⑤厚生労働省の接触確認アプリ（略称：COCOA）から通知があった場合
- ⑥秋田県版新型コロナ安心システム（新型コロナ対策パーソナルサポート）〔LINE〕から通知があった場合

▶あきた新型コロナ受診相談センター（コールセンター）の電話番号

☎018・866・7050（24時間受付）

☎018・895・9176（8：00～17：00受付）

☎0570・011・567（8：00～17：00受付）

●新型コロナウイルス感染症以外の受診

コロナ禍でも、医療機関で必要な受診をしましょう。

- 過度な受診控えは、健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。
- 持病の治療や予防接種・健診等の健康管理は重要です。
- 医療機関では、感染防止対策が行われています。
- 具合が悪いなど健康に不安があるときは、まずは、かかりつけ医に電話で相談しましょう。

新型コロナウイルスワクチン接種の準備を進めています

新型コロナウイルスワクチンは、国からの指示に基づき、県と調整しながら、ワクチンの供給が可能となった時に的確かつ迅速に接種が行えるよう、準備を進めています。

▶接種対象者

町で行う新型コロナウイルスワクチン接種は、本町に住居票がある方が対象です。対象の方への接種券の発送は、国からの指示に基づき順次行います。

▶接種スケジュールと優先順位（2月22日時点）

国では、全国民分のワクチンの数量の確保を目指して

います。ワクチンは、徐々に供給されることになり、一定の接種順位を決めて接種を行います。

医療従事者は、一部の医療機関で2月中旬に接種を開始し、その後一般の医療従事者への接種を3月から実施する予定です。高齢者（令和3年度中に65歳以上に達する方）への接種は、4月以降になると見込まれています。

▶接種できる場所

町内公共施設に集団接種会場を設置する予定です。具体的な場所や日程、接種方法等の詳細が決まり次第、町広報や町ホームページ等でお知らせします。

▶お問い合わせ 町健康福祉課（☎852・5180）



シェアビレッジ・プロジェクトによって宿泊交流施設としてよみがえった馬場目町村の古民家には、県内外から多くの方が宿泊や視察に訪れるなど、町の観光振興や交流人口の拡大に寄与されています。

町村内の古民家を会員制の宿泊交流施設として運営 シェアビレッジ・プロジェクトが総務大臣表彰

2月16日、地域活性化に貢献した個人や団体を表彰する総務省の「令和2年度ふるさとづくり大賞」の伝達式が秋田市で行われ、本町を主な拠点として活動する「シェアビレッジ・プロジェクト」が総務大臣表彰（団体表彰）を受けられました。シェアビレッジ・プロジェクトは、平成27年に発足。個人所有では維持費がかかり、管理者がいないことから解体が検討されていた築130年を超える馬場目町村の古民家を、大勢の出資者を集めることで保存し、宿泊交流施設「シェアビレッジ町村」として運用しながら、古民家の歴史や地域文化を次世代へ広く伝えていくという思いで活動が始まりました。

活動資金の調達はクラウドファンディング（注）によって行われ、インターネット上で「年貢」と称する会費を募り、その会費が施設の修繕や保全などに充てられています。また、「年貢」を納めることで「村民」と呼ばれる会員になることができ、会員が町内の古民家に宿泊に訪れる「里帰」や、首都圏を主な会場に会員が集う「寄せ」などを開催し、古民家への関わりを通じて地域内外の方々が繋がり、交流する機会を創出しています。

このような取り組みが、観光振興や交流人口の拡大、地域の文化資源の維持発展につながるものとして評価されました。

(注)クラウドファンディング

商品やサービス、企画など自分の活動やアイデアを実現するために、インターネット上で活動資金の支援者を募る資金調達の仕組み。



施設の運営を行うシェアビレッジ株式会社の（左から）半田理人さん（32歳・町村）、丑田さん、小原祥嵩さん（38歳・古川町）。